

コロナが蔓延し尽した今、これからの私達の生活のあり方は？ パート9、

11月に入り、群馬県の警戒度が1になり、当館独自の警戒度も1になりました。新型コロナウイルス感染症も一段落しつつあります。しかし、これからはパンデミック第8波が心配されるようになり、インフルエンザの同時流行も懸念されるような社会状況になってきております。

そのコロナの全数把握は9月26日よりしないことになっておりますので、定点把握のインフルエンザと同じような把握実態に既になっています。

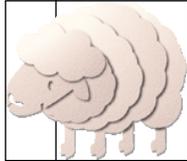
これからはそのパンデミックの波が大きいのか小さいのか、あるいはくすぶり続けるのか、分かりませんが、私達のやり方はほぼ固まってきているので、これまで通り、粛々とこれまで通りの現実路線を歩んでいけば間違いありません。

前月も同じことを言いましたが、各自が主体的に、多職種協働で、感染対策の基本を忘れずに、濃厚接触の可能性あれば症状がなくても早めに把握してホウ・レン・ソウを心がけていけば大丈夫ということです。

症状があってもなくても、気になることがあれば互いに遠慮することなく同僚・上司とのホウ・レン・ソウを守ることがポイントです。そして症状等の心配があれば遠慮することなく勤務を休むことも差し支えありません。お互い様ということスタッフ同士が特に肝に銘じておきましょう。

それらのもとになる感染予防対策の基本は、前月も言及したように下記です。

- 1, これまでの予防対策の基本（マスク・換気・黙食・手指消毒等）を守っていればまず感染しませんし、万一本人が感染したとしても、他人に感染させる心配はないことが分かっています。
- 2, 周りに感染者があふれていますので県外移動云々は意味ありません。不特定多数と接触する場合、友人でも久しぶりに会う場合、これを意識することです。この場合には「2日ルール」、「3日ルール」、「5日ルール」のどれかをリスクに応じて適用することになりますので同僚・上司へのホウ・レン・ソウが必須です。

<p>老人保健施設一羊館の理念</p> <p>利用者の方々にすべてに尊厳・安心・満足を！</p> <p>一羊館の行動指針</p> <p>私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。 私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。 私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。</p>	
<p>話合いの3原則：</p> <ul style="list-style-type: none">①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。③正解は一つではないことを自覚して自制します。	